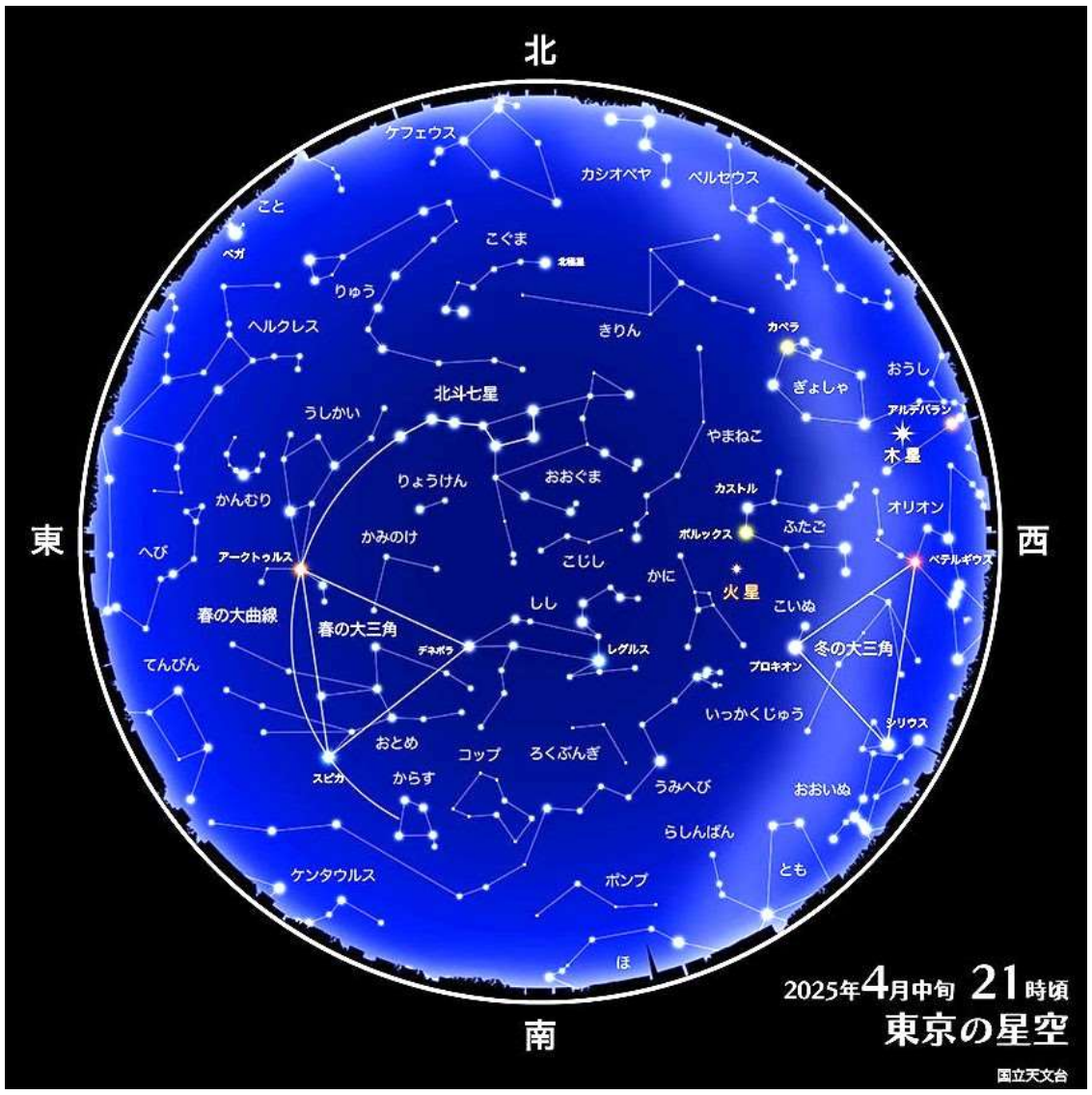
有田川町天文ニュース（４・５月号）

有田川町天文クラブ・有田川町教育委員会社会教育課

春分が過ぎて昼がどんどん長くなります。
東の空には春の星座
西の空にはしずむ冬の星座と
白く輝く木星、赤く光る火星



春の星座〔一等星など目印〕の神話

★しし座〔レグルス〕

ネメアの森にすみ、たびたび村人たちや旅人をおそうライオン。そのためヘルクレスに退治されてしまった。

★うしかい座〔アークトゥルス〕

天空を支える巨人アトラスがモデルです。

★おとめ座〔スピカ〕

農業の女神デーメーテルの娘ペルセフォネ。左手に持っているのは麦、穂先の位置で光っているのはスピカです。白く輝いているので真珠星ともよばれます。

★おおぐま座〔北斗七星〕

大神ゼウスの愛を受けた月の女神アルテミスの付き人カリスト（おおぐま座）とその子どもアルカス（こぐま座）です。

★こぐま座〔北極星〕

北極星は常に北にあり北を知る目印になっています。

観望会

４月５日、５月３日（毎月第１土曜）19時～
ほしみ広場（金屋テニス公園となり）

月と火星・土星観望会

４月６日（日）19時～　　アレック

惑星（太陽系の星・地球のなかま）

水星　日の出前の東の低い空にあります。高度が低いため観察はむずかしいでしょう。

金星　日の出前の東の低い空にあります。高度は低いもののとても明るいので、見つけることができるでしょう。
４月27日には最大光度となり大変明るくなります。（マイナス4.8等）

火星　日の入り後の南西から西の空に見え、明るさは0.4等から0.9等。

木星　日の入り後の西の空に見え、明るさはマイナス2.1等からマイナス2.0等。

土星　日の出前の東の低い空にあります。見かけの位置が太陽に近く、観察はむずかしいでしょう。

今年一番小さく見える満月　４月13日

地球の周りを回る月と地球の距離はいつも同じではありません。月と地球の距離が変わるため、地球から見える月の大きさが変わります。４月13日に見える満月は、地球からもっとも離れていて、今年見える満月で一番小さい満月です。

写真で２つの月をならべると大きさのちがいが分かりますが、実際の夜空では「小さいな」と実感することはむずかしそうです。

今年一番大きく見える満月（スーパームーン）は、11月５日です。